



### 【水温，塩分，密度の鉛直断面分布】

9月に中層から海底付近にかけて分布していた津軽暖流水（水温6℃以上，塩分33.6以上）は，その後拡大し，11月では鉛直断面の全層を覆っていました。このため，9月に噴火湾内の深度20m以浅に見られた塩分の低い夏季噴火湾表層水は消滅しました。一方，気温の低下に伴い海表面が冷却されて鉛直方向の海水の混合が進み，11月の深度50m以浅は水温12℃前後の均一な水に覆われています。今後，さらに気温が低下すると，噴火湾内の海水は海面から海底まで水温や塩分がほぼ均一になると予測されます。

9月の鉛直断面

11月の鉛直断面

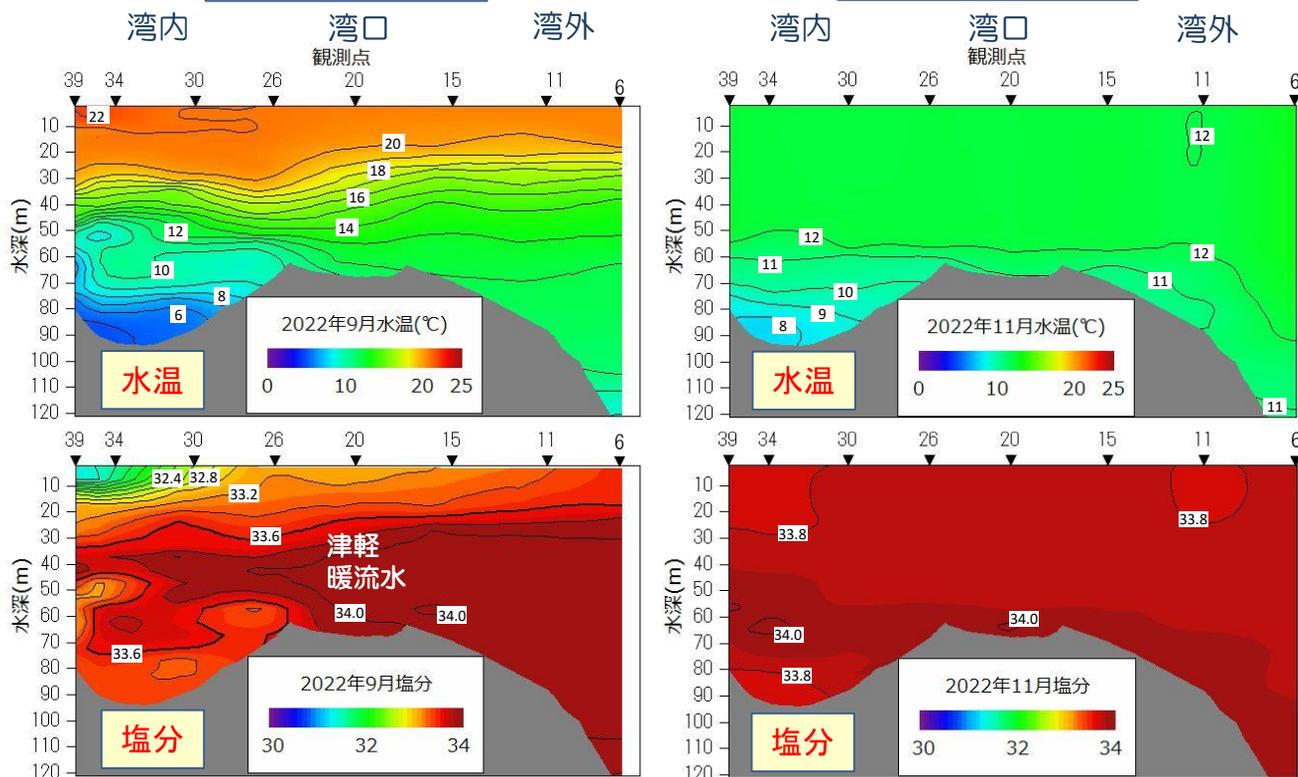


図2 水温・塩分・密度の鉛直断面図（左：9月，右：11月）  
鉛直断面の位置は右上図の赤破線を参照 上部の▼は観測点

### 【底層の溶存酸素分布】

海底直上5mの溶存酸素は湾奥で3ml/L以下の貧酸素水塊が形成されており，9月の調査時（左図）とは分布が異なっていました。今後さらに鉛直混合が進み，海底まで均一な水になると貧酸素状態は解消されると考えられます。

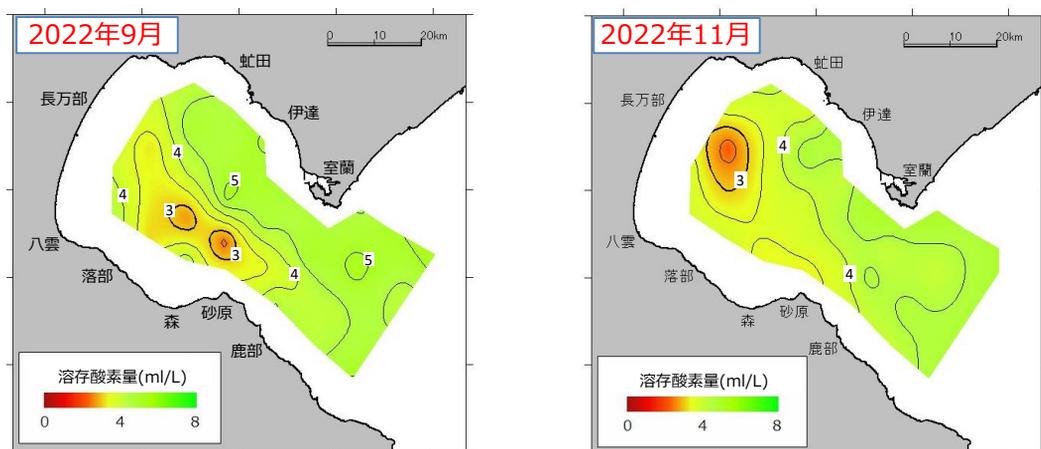


図3 海底上5mの溶存酸素量(ml/L)の分布（左：9月，右：11月）